



# 味かまほし 2026年

穂高西小学校だより

No.4

R8. 7. 24

校長 熊井 恵子



保護者の皆さまのご理解とご協力、そして地域の方々のご支援のおかげで、無事に1学期の終業式を迎えることができました。子どもたちはこの74日間、新学期のスタートに始まり、運動会や学年行事、縦割り班活動など、たくさんの経験を経てたくましく成長した姿を見せてくれました。いつも元気に登校できる日ばかりではなかったかと思います。体調がすぐれない時、気持ちが沈んでしまう時、温かく励まし、支えてくださったご家族の皆さまに、心より感謝申し上げます。

いよいよ始まる夏休みは、子どもたちにとってワクワクすることがいっぱいです。そのワクワクが2学期のエネルギーとなりますよう、いっぱい遊んで、いっぱい笑ってください。また、「安全な過ごし方」や「規則正しい生活」についても、お声がけとご指導をよろしくお願いいたします。

## 【40周年を記念して】

### ～運動会「全校種目」(大玉送り)～

初めての太玉送りでは、最初は戸惑う様子も見られましたが、子どもたちは全校で力を合わせる楽しさを感じながら取り組んでいました。競技後には、「コーナーは高学年が担当の方がよいのでは」「もっと上手に送るにはどうしたらよいだろう」など、よりよい競技にするための意見や工夫も聞かれました。来年度以降の実施については、今年度の取組を踏まえながら検討してまいります。



### ～西小コンサート 校歌♪今昔物語～

7月22日に開催したミニコンサートには、保護者や地域の皆さま約100名にご来場いただきました。誠にありがとうございました。6月から全校音楽の15分間を中心に、学級やパートごとに練習を重ね、7月には全校で集まって練習に取り組んできました。

ミニコンサートは、音楽クラブによるトーンチャイム演奏「穂高西小学校校歌」で、しっとりとした幕を開けました。わずか4回のクラブ活動でここまで仕上げた子どもたちの努力は見事でした。続いて、先生方による「穂高南小学校校歌」の合唱。初めて歌う先生、以前勤務していた先生、卒業生である先生など、それぞれの思いを込めて歌いました。次に披露したのは、全校児童による「西穂高小学校校歌」。楽器伴奏や振り付けを取り入れ、工夫しながら楽しく演奏することができました。そして最後は、穂高西小学校校歌「命の希ひ」の合唱。全校で心を一つにして歌いました。

校歌の歴史をたどることで、子どもたちは「校歌は学校の宝物」であることをあらためて感じるこ

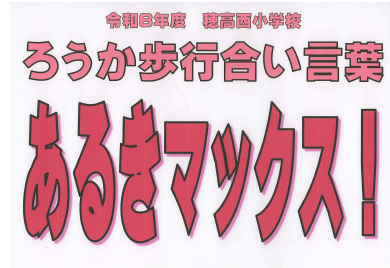


ことができました。校歌を通して学校の歴史や伝統に親しみ、子どもたちにとっても、ご来場いただいた皆さまにとっても、心に残るひとときとなりました。

コンサートの最後には、子どもたちやご来場の皆さまから、「楽しかった」「感動した」「もう一度やってほしい」など、多くの温かい感想をいただきました。

## 【スマイルタイム（縦割り班活動）】

安全な学校づくりに欠かせない「廊下歩行」。この課題にスマイル班（縦割り班）で取り組みました。たくさんの標語の中から選んだ「校長賞」は、合い言葉にもなる「あるきマックス!」です。『廊下を走っている人を見つけたら、「廊下は?」と声をかける。走っている人は「あるきマックス!」と言って止まり、歩く。』これを全校で実践しています。生活委員も積極的に呼びかけてくれています。私も走っている人を見かけると「廊下は?」と声をかけます。本人だけでなく、周りの子どもたちも「あるきマックス!」と声をかけてくれる姿が見られるようになりました。廊下歩行への意識がさらに高まるよう、2学期も続けていきます。



|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 教頭賞   | ろうかを走らずゆっくり歩くと、ケガをしないでみんなでスマイル |
| 1学年賞  | 歩けば幸運                          |
| 2学年賞  | しずかなろうかで楽しい気持ちになっちゃおう!!        |
| 3学年賞  | 世界一安全なろうかにしよう!                 |
| 4学年賞  | 右側通行で歩けば いいことがあるかも?            |
| 5学年賞  | みななもの、全員歩けばすべてよし!!             |
| 6学年賞  | みんなが見てるよ 西小のルール                |
| こまなか賞 | 静かでやさしい足音の音色                   |

<標語各賞>  
廊下に掲示しました

## 【1学期終業式 校長の話】



私が終業式で子どもたちに読み聞かせをした絵本『なつのいちにち』（はたこうしろう・作）は、夏の自然の中で夢中になって遊ぶ男の子の姿を描いた作品です。ページをめくるたびに、まぶしい日差しやセミの声、草のにおい、汗をかきながら駆け回る子どもの息づかいまで伝わってくるようで、「夏っていいな」「今年の夏も思い切り楽しみたい」という気持ちが自然とわいてきます。

今は、ゲームや動画など室内で楽しめるものもたくさんありますが、夏休みだからこそ、外に出て自然にふれたり、家族や友達と過ごしたりする時間も大切にしてほしいと思います。虫を追いかけたり、水遊びをしたり、夕焼けや星空を眺めたり、普段はできない体験が、子どもたちの心を大きく育ててくれることでしょう。（暑さには注意ですが…）

終業式では、「安全に気を付けながら、思い切り夏を楽しんでください」と子どもたちに伝えました。この夏休みが、一人一人にとって心に残るすてきな思い出にあふれ、たくさんの笑顔とともに、2学期には元気な姿で登校してくれることを楽しみにしています。

<学校閉庁日・休日における学校への緊急連絡方法について（再掲）>

○学校閉庁日 8月12日（水）、13日（木）、14日（金）

緊急な連絡は、安曇野市教育委員会学校教育課（71-2223）へ。8時30分～17時15分

○夏休み中の土日、祝日、夜間に、お子さんにかかわる事故や大けが等、ご家庭から学校へ緊急を要する連絡を取りたい場合は、安曇野市役所代表電話（71-2000）へ。

（学校名とお名前、緊急を要する用件、連絡先電話番号を伝えていただくと、校長等に伝言が取り次がれます。内容によっては、学校から折り返し連絡をとらせていただく場合があります。）

